

国立科学博物館 第 5 回ヒットネット〔HITNET〕ミニ企画展 拡がるセラミックスの世界-日本の産業技術-へ TOTOミュージアム収蔵品を出展

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:喜多村 円)は、**独立行政法人国立科学博物館が主催する第 5 回ヒットネット〔HITNET〕(※)ミニ企画展「拡がるセラミックスの世界-日本の産業技術-」**に、TOTOミュージアム収蔵品を出展いたします。出展品は**国産初の腰掛式水洗便器(復元品)、衛生陶器のミニチュア、コーヒー碗皿、衛生陶器の製造過程の縮小・変形(ミニチュアサンプル)、エアロゾルデポジション法によるセラミックス膜、静電チャック**です。同企画展は、国立科学博物館地球館 2 階(会期:2017年2月28日[火]~4月16日[日])で開催されます。

国立科学博物館では、日本の産業技術系博物館が収蔵する資料の情報を検索できるデータベース「ヒットネット(HITNET)」をつくり、インターネットで公開しています。今回の企画展では、ヒットネットに登録している博物館の中から、“セラミックス”にちなんだ4館を選び、特色ある収蔵品を紹介します。日々の生活を豊かにしている産業技術のおもしろさや、技術の歴史を見る楽しさを知ってもらうことを目的に展示を行います。

今回の企画展にはTOTOミュージアムのほか、那覇市立壺屋焼物博物館、京セラファインセラミックス館、TDK歴史みらい館から貴重な収蔵品が展示されます。

※HITNET: Archives of **H**istory of **I**ndustrial **T**echnologies **N**etworking Japanese Industrial Museums
ヒットネット URL ▶ <http://sts.kahaku.go.jp/hitnet/>

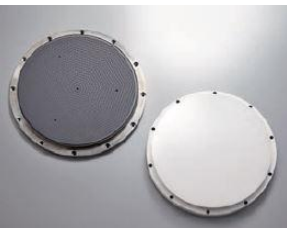
出 展 品



国産初の腰掛式水洗便器(復元品)
1914(大正 3)年に完成した国産初の腰掛式水洗便器。当時の便器は現存しないため写真を元に復元しました。



衛生陶器のミニチュア
戦後間もない頃のカタログに掲載された衛生陶器の精巧なミニチュアです。ショールームがなかった当時、外観の形状などを説明するために使用した持ち運びできるツールです。



静電チャック
半導体製造装置の中で、シリコンウェハを吸着固定する部品。電圧 ON / OFF することでセラミックス表面の帯電をコントロールし、静電吸着により簡単に着脱できます。



エアロゾルデポジション法によるセラミック膜
セラミックスは通常、高温で焼成しますが、エアロゾルデポジション法はセラミック微粒子を含んだエアロゾルを吹き付けることで、常温で緻密なセラミック膜を作り出します。(第 6 回ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞受賞)。

参考:「TOTOミュージアム」について

TOTOミュージアムでは、TOTOが大切にしている歴代社長の志とその想いを受け継ぎ、水まわり文化の発展と社会の発展に寄与すべく創造し続けてきた数々の商品をご紹介します。展示「TOTOのころざし」では森村グループ創始者・森村市左衛門、TOTO創業者・大倉和親、五代目社長・江副孫右衛門の功績など、TOTOに受け継がれるものづくりへの熱い想いをご紹介します。



TOTOミュージアム

水まわりの進化を伝えるコーナーでは過去に納入した著名現場を再現して展示しています。展示「水まわり商品の進化」では、東京オリンピック(1964年)の際にホテルニューオータニへ納入した初代ユニットバスルームをはじめ、霞が関ビルディング(初代ユニットトイレ)、迎賓館赤坂離宮(大便器・ビデ・浴槽)等を展示しています。空間ごとに再現することで当時の様子をリアルに感じていただけます。

【TOTOミュージアム概要】

開館時間	10:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日	毎週月曜日、夏期休暇、年末年始
住所	北九州市小倉北区中島 2-1-1
お問い合わせ先	TOTOミュージアム TEL:093-951-2534
WEBサイト	http://www.toto.co.jp/museum/index.htm